

# 温泉街から地域を盛り上げる

古湯温泉について

佐賀県佐賀市富士町にある古湯温泉は、特定の温泉施設が「古湯温泉」と言われているものではなく、複数の温泉宿が密集している一帯が「古湯温泉」と言われております。また逸話として、秦の始皇帝の命令で日本に不老長寿の薬を探しに来た徐福という人物が発見した温泉

特集

7

佐賀県



古湯・熊の川温泉  
観光コンベンション  
連盟 理事長  
山口 澄雄

と言われるほど古くから湯治場として親しまれています。福岡市内より車で約1時間、佐賀市内より約40分で到着する、山に囲まれた自然豊かな温泉街です。

Uターン後、故郷の姿をみて

昔の古湯温泉は20分に1本、満員になったバスがやってくるくらい多くの人々が訪れておりました。住民も活気があり、町全体が生き生きしていたように感じます。しかし時代と共に衰退していき、1993年に一度町を離れ、2011年に富士町へ戻ったときには、空き家や空き店舗が増え、町に人が減り、活気がなくなっている様子がしみじみと伝わってきました。たまたまかけるように、ダムができることでの住民の立ち退き、バスがでることでの町中の交通量の減少、小学校の廃校など富士町が様々な問題に直面していることを知りました。地域全体の立て直しをしないといけないという想いから、地域活性化のための活動を始めました。

温泉街をかき混ぜる

富士町が誇れるものはやはり「古湯温泉」であり、富士町を訪れるお客さんに温泉街を歩いてもらいたい、地域住民には温泉街を、胸を張って自慢してもらいたいと考えました。そこで取り組んだの



石畳と温泉施設

が、古湯温泉の真ん中にあるメインストリートに石畳を敷き詰めることでした。最初、住民からはあまり理解されず、車で通るとガタガタする等評判のいい声は聴かれませんでした。しかし、古湯温泉を訪れたお客さんからは、とても歩きやすい、温泉街の雰囲気が出ていると好評で古湯温泉に来て温泉街を散策される方がどんどん増えていきました。こうした地域外の方の反応から住民にも理解者が増え、地域活性化のための活動に協力してくれる方が増えていきました。

また道路の石畳化と同時に、温泉街周辺の空き店舗や空き家へ再び人を呼び込